

# 『笠間を元気にする ネットワークづくり』

## 活動報告

市民の皆さん、こんにちは。私たちは昨年4月よりスタートした茨城県初の地域自殺予防介入モデル事業「笠間を元気にするネットワークづくり」事務局です。

私たちの事業は、市民の暮らしを支える各関係団体・機関のつながりを強めることによって、①メンタルヘルスや生活上のさまざまな問題を抱えた方の孤立や自殺を防ぐこと、②市民の交流が活発になって市全体がより元気になること、を目指して活動しています。

これまで市内各所で啓発普及活動や研修活動等の取組みを行ってきました。今回は、これまでの活動経過と今後の活動予定をお知らせします。今後とも皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

### これまでの活動

筑波大学、笠間市、茨城県でワーキンググループを設置し、笠間市における地域自殺対策について検討を重ねています。茨城県立中央病院・友部病院の自殺対策連携事業とも協働して、自殺未遂者の医療支援体制づくりを進めています。平成22年9月には、市内の各支援団体・機関がお互いにどのようなつながりを持つべきかを調べるため、「支援ネットワーク連携度調査」を実施しました。

また、笠間市職員、友部地区民生児童委員、笠間市社会福祉協議会関係者等にうつや自殺予防に関する研修会を実施したり、笠間市公民館まつりで「こころの健康教室」を開催したりするなど啓発活動も行いました。



研修会の様子

### 今後の活動予定

平成23年初春には、友部病院による市民アンケート「笠間市民こころの健康調査」が実施されます。詳細は下記をご覧ください。また、今後は研修会、啓発活動のほか、現在構築中の支援ネットワークの強化やうつ・自殺のリスクが高い方を早期に発見し適切につなげる体制づくり等を計画しています。



笠間市公民館まつりの様子

## ●「笠間市民こころの健康調査」について●

市民の皆さんの「こころの健康について」「困った時の相談機関の利用について」「人間関係について」「自殺に対する意識について」などの実態を把握する大規模市民アンケート調査「笠間市民こころの健康調査」を実施します。

今後の市内のメンタルヘルス・自殺予防対策を検討する際の重要な基礎資料とします。調査実施の主体は茨城県立友部病院で、「平成22年度こころとからだをみる医療と看護の研究事業」の一環として行われます。

対象は笠間市在住の20歳以上の方、2000人(ランダム抽出法)を予定しています。

調査票は平成23年1月～2月にお手元に届く予定ですので、選ばれた市民の皆さんには、ぜひともご協力をお願いします。

\*調査は匿名で集計され、結果は統計的処理をされた後に公表されるため、個人の情報、ご意見が個別に公開されることは一切ありません。

問合せ:「笠間を元気にするネットワークづくり」事務局(筑波大学精神神経科グループ太刀川研究室内)  
TEL/FAX:029-853-3343 E-mail:kasama-genki@tsukuba-psychiathy.com